'Water for Life'
UN-Water
Best Practices Award

世界に誇る地下水都市 熊本

「地下水を守り伝えていくために」

ダイジェスト版



KUMAMOTO WATER LIFE

熊本市の水の見どころ



熊本市 水保全課

〒860-8601 熊本市中央区手取本町1番1号
TEL(096)328-2436

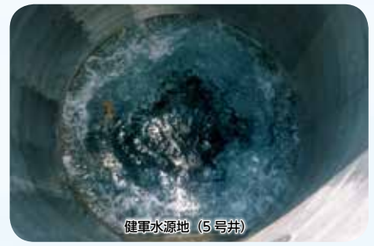
くまもとウォーターライフ 検索

令和２年３月作成

世界に誇る地下水都市熊本「地下水を守り伝えていくために」

平成25（２０１３）年3月、熊本市は日本で初めて国連〝生命（いのち）の水〟最優秀賞を受賞しました。これからも地域の宝である地下水を将来にわたり守り続けていきます。

世界に誇る地下水都市・熊本


健軍水源地（５号井）

水道水源のほぼ全てを地下水で賄っており、広域的な地下水保全に取り組んでいる、全国でも非常に珍しい地域となっております。



熊本地域 11 市町村

74万人市民の水道水源の全てを地下水で賄う「地下水都市・熊本」。

これは、人口50万人以上の都市としては日本唯一、世界でも希少な都市です。

約１００万人以上が暮らす「熊本地域」（熊本市を含む11市町村）においても、

この、熊本地域の地下水保全の取組が世界で高く評価され、平成25（２０１３）年3月に、国連〝生命（いのち）の水〟最優秀賞を受賞しました。

また、平成の名水百選に、熊本市から「水前寺江津湖湧水群」「金峰山湧水群」の2か所が選定されています。


水前寺江津湖湧水群（水前寺成趣園）


金峰山湧水群（成道寺）

地下水の仕組み・成り立ち

阿蘇の自然のめぐみ

熊本地域の大地は阿蘇火山の４度の大噴火によってできあがりました。

この地層はすきまに富み、水が浸透しやすい特徴を持っているため、熊本地域に降った雨は地下水になりやすく、地下に豊富で良質な水が蓄えられています。



阿蘇山によって「世界に誇る地下水都市・熊本」の土台ができあがったのです。

土木の神様・清正公さんと「かん養域」

熊本城を築いたことで有名な加藤清正公は、治水土木の業績から「土木の神様」とも敬われています。清正公は、地元で「ザル田」といわれるほど水が浸透しやすい白川中流域に、大規模な水田開発を行いました。

その結果、水田から大量の水が地下に浸透し、熊本地域の地下水はますます豊富になりました。


加藤清正像

熊本地域の地下水の流れ

熊本地域の地下水の流れのうち最も大きいといわれるのは、白川中流域の「地下水プール」に蓄えられた地下水が南西の江津湖などの湧水地帯を経て、西方の熊本平野へ向かう流れです。

熊本地域の中で、最も恩恵を受けているのが熊本市なのです。



熊本地域の地下水の現状

豊富な地下水に恵まれる熊本地域ですが、都市化の進展や米の生産調整などによって、かん養域が減少したことから、熊本地域の地下水位は長期的にみると減少傾向にあります。

また、地下水の質も全体としては良好な状態にありますが、一部地域では硝酸性窒素濃度の上昇傾向が見られるなど、量・質ともに課題を抱えています。

近年では、長年続いた地下水位の低下傾向が緩やかになり、一部を除き回復の兆しが見られるなど、これまでの成果が現れ始めていると考えられていますが、今後もさらに継続した地下水保全への取り組みが必要です。


水田湛水の様子

地下水を守る



地下水保全活動の歴史と今

水源地近くの高層住宅団地建設計画をきっかけとして、地下水に対する市民の関心が高まり、昭和51（１９７６）年「地下水保全都市宣言」が決議され、翌年、全国に先駆けて「熊本市地下水保全条例」を制定しました。

平成19（２００７）年には同条例を全面的に改正し、水質・水量の両面からの保全と節水社会の形成を図る総合的な条例となりました。

地下水質を守る

毎年約220本の井戸で地下水質を測定し、地下水浄化等の保全対策を推進しています。

特に硝酸性窒素削減計画に基づき、関係者と連携を図り、施肥や家畜排せつ物などの対策に取り組んでおり、家畜排せつ物を適正に処理するため、熊本市東部堆肥センターを整備し平成31（２０１９）年4月に供用開始しました。



地下水をつくる

白川や緑川などの河川上流域で水源かん養林の整備に取り組んでいます。また、熊本地域の重要なかん養域である白川中流域では、地元農家の協力を得ながら、転作田を活用した水田湛水事業を行っています。



節水

市民総参加で取り組む節水市民運動を行っています。

令和６（２０２４）年度までに市民1人1日あたりの生活用水使用量を２１０Ｌまで削減することを目標に取り組んでいます。



くまもと水守

水や水の文化を守ったり、魅力をＰＲしたりする人材を「くまもと水守」の愛称で登録し、人材育成や情報提供を行っています。

くまもと水ブランドの発信

良質な地下水とその地下水に育まれる農産物や食、自然環境、歴史や文化を融合させ総合的なブランドとして、また、市民協働での熊本地域の地下水保全の取組を国内外に積極的に発信していきます。

熊本水遺産

水の風土と文化を後世に伝えるため、市民共有の財産として市が登録する制度です。（令和元（2019）年度末現在92件）


桜の井戸


御手洗さん

くまもと「水」検定

全国初の「水」に関するご当地検定です。通信試験による3級から、会場試験形式の2級・1級まであり、知識の普及と保全意識の高揚を目指し、地下水都市・熊本の魅力発信を図ります。

これまでに5万人以上の方が受験しています。



名前入り認定証

街なか親水施設

九州新幹線全線開業を期に、世界に誇る地下水都市・熊本をアピールしようと、熊本駅新幹線口から熊本市中心部にかけて、熊本の水の魅力に触れることができる「街なか親水施設」が誕生しました。

ミネラル成分がバランスよく含まれた熊本のおいしい水を味わっていただけるよう水飲み場も併設しています。

「蛇口をひねればミネラルウォーター！」と言われる熊本の水を、ぜひ見て、飲んで、味わってください。


「城見の水」
（熊本市役所前）


「城下町の」
（明八橋側）

広域連携への取組

（公財）くまもと地下水財団の発定

平成24（２０１２）年4月、熊本地域の地下水保全に広域で取り組む「（公財）くまもと地下水財団」が発足しました。住民・事業者・行政が互いの立場を超え、財団が中心となり熊本地域全体で効果的な地下水保全対策に取り組んでいます。